

# 徳島市景観形成基準チェックリスト（工作物（門・塀））

## 【眉山山麓周辺（寺町・大滝山周辺）】

- ・「適用」欄は、当該基準の適用の有・無について、該当するものに○印を付けてください。
- ・「景観形成基準」欄は、適合するよう配慮した場合に、□内に☑印を付けてください。
- ・「※備考」欄は、記入しないでください。

	項目	適用	景観形成基準		※備考
			□寺社建築	□一般建築	
基本事項	共通事項	有・無	□景観形成の基本方針やゾーンごとの景観形成方針等並びに重要な景観に関する景観形成方針に適合するよう努める。		
		有・無	□伝統的な様式の寺社建築や門・塀の建ち並ぶ落ち着いたきのある佇まいである場所性を尊重しながら、周辺景観との調和やまち並みの連続性に配慮して、著しく不調和とならないよう努める。		
			具体的な配慮または工夫の内容		
B 工作物（門・塀）	意 形 態 匠 等	有・無	□屋根付きとするなどの寺社建築としての演出に努める。	□著しく周辺寺社景観と不調和となる意匠・形態はさける。	
		有・無	□塀の高さは1.6m前後とし、周囲の塀の高さと揃えるよう努める。		
			具体的な配慮または工夫の内容		
	色 材 彩 料	有・無	□塀の壁はしっくい壁等を使用するよう努める。	□落ち着いた色彩を基調とし、著しく周辺寺社景観と不調和となる色彩はさける。 色調 [マンセル値： ]	
		有・無	□塀の色は白系または落ち着いたきのある色調とする。 色調 [マンセル値： ]	□周辺寺社景観と調和した材料を使用するか、良質で汚れにくく、耐久性に優れ、維持管理の容易な材料の使用に努める。 使用材料 [ ]	
		有・無	□瓦の色はいぶし銀系、黒系または落ち着いたきのある色調とする。 色調 [マンセル値： ]		
		有・無	□石、木材等の自然素材を使用し、寺社建築としての演出に努める。		
			具体的な配慮または工夫の内容		
景観形成のために特に配慮した事項があれば記入してください。					